

源氏物語の朗読と初釜の会

「梅枝」

2019年2月12日(火)

源氏物語の朗読と初釜の会を開催します。

梅枝は、光源氏の幼女、明石の姫君が入内する記念の式典が描かれた巻

光源氏はお祝いの為に各所から様々な香り合わせを行います。

この巻は、今後の巻の展開の重要な要になっていて、注意深く読むと光源氏の政治的側面が興味深く面白い巻です。

今回は、あめんぼ朗読研究会、短歌会『ぴの』から浦西陽子先生をお迎えして、朗読と物語の解説をしていただきます。

また、梅枝の巻に欠かせない香りは、奈良町のキモノとお香のお店、縁心屋店主、香楽認定香司の小浜恭子さんが調合されます。心地の良い香と朗読を聴きながら、普段の生活から少し離れた癒しの時間を過ごしたいと思います。

朗読の後はおオニシ恭子の初釜、砂糖を使わないお菓子と共にお楽しみいただきたいと思います。

浦西陽子・・・公立高校退職後、2015年龍谷大学大学院国際文化学科修了、修士。「正岡子規と夏目漱石の青春期の交流と、『木屑録』から『草枕』に底流する「光」の表現について考察。その後、絵画、物語、絵本等を表現手段として、「こころ」をどのように伝えていくかを模索する。現在、桜井市で『源氏物語』の講読をする。声も人とのつながりの大切な表現手段と考え、地域の教育・介護施設、県内外の公共施設等で朗読活動を行う。あめんぼ朗読研究会所属。短歌会『ぴの』同人。

日時 : 2019年2月12日(火) 14～17時

料金 : 2,000円と資料代300～500円ほど

場所 : 桜井市初瀬771 「やまと薬膳 源氏物語」

お問合せ、申込みは やまと薬膳

TEL 0744-57-9038 MAIL genji@yamatoyakuzen.com

